

特集：病院図書室と電子情報

この特集を 取り組むにあたって

近年、病院図書室をめぐる環境、とりわけコンピュータ技術と通信技術の発展には著しいものがあります。すでに、利用者自身が直接、パソコン通信やインターネットを通してほしい情報を図書館を仲介しなくても得ることのできる環境にあります。

また、近畿病院図書室協議会図書室年次統計調査報告書によると、CD-ROMの導入施設は平成3年度調査で14施設であったものが、4年後の平成7年度調査では、65施設と急激に増加していることがわかります。インターネットの導入も平成7年度から調査していますが、その時点ですでに6施設が導入をしています。

電子情報時代に向けて、病院図書室にこれらの環境を整備していくことの必要性和同時に、我々図書館員の果たすべき役割についても共に考えていく必要があるのではないのでしょうか。

今回の特集は、これらの必要性を強く感じて試行錯誤しながらも、図書室業務に取り入れているいくつかの病院図書室の事例を紹介してもらうことができました。

もちろんこれですべてがわかるものではありませんが、今後これらの環境を整備しようと考えている図書室や、その必要性を感じながらも何から手をつけたら良いのか迷っている多くの図書館員の皆さんに、少しでも参考になれば幸いです。

特集では、最初に特集を読むにあたって必要な予備知識について簡単にまとめています。その後、3つの事例を具体的に紹介しています。
(編集部)